

# 第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画（概要版）（案）

## 1. 基本的事項（1頁）

本計画は、国民健康保険の保険者である千葉市が、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るために、特定健康診査（以下、特定健診）や診療報酬請求明細書（以下、レセプト）などのデータ分析の結果に基づき、保健事業の実施計画を定め、PDCA サイクルに沿って運用するものである。  
計画期間は、2018(H30)年度から2023(H35)年度までの6年間。「データヘルス計画」と「特定健康診査等実施計画」を合わせた計画とする。

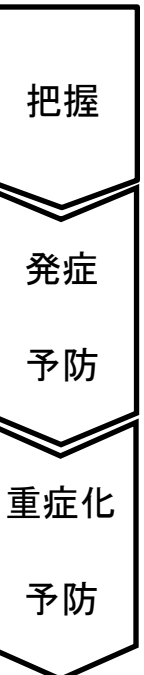
## 2. 現状の整理と課題の明確化（3頁）

### 対策すべき疾患は？（レセプト、死因等の分析から）

疾患	対策すべき理由	
基礎疾患	糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>総医療費の5.7%を占め、2番目に医療費がかかっている。</li> <li>件数（千人当たりのレセプト数）は2番目に多い。</li> </ul>
	高血圧症	<ul style="list-style-type: none"> <li>総医療費の4.5%を占め、3番目に医療費がかかっている。</li> <li>件数は最も多い。</li> </ul>
	脂質異常症	<ul style="list-style-type: none"> <li>総医療費の2.7%を占め、6番目に医療費がかかっている。</li> <li>件数は3番目に多い。</li> </ul>
重症化	慢性腎不全（透析あり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>総医療費の6.8%を占めており、最も医療費がかかっている。</li> </ul>
	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>国、政令市と比較すると心不全を死因とする者が多い。</li> <li>総医療費の2.7%を占めている。</li> </ul>
	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護度が上がるとともに脳疾患の有病率が増えている。</li> <li>総医療費の2.6%を占めている。</li> </ul>

### これまでの事業を振り返っての課題は？

事業	事業を実施して明らかになった課題
特定健診	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診理由を回答した者のうち、7割が医療機関で定期受療中。</li> <li>2年連続未受診者のうち、約5%は他健診受診者（自費人間ドック、職場健診）。</li> <li>中学校区ごとに受診率の差があり、受診率の低い地域は医療機関密度が薄い。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">定期受療者や他健診受診者のデータ活用、集団健診の実施検討が必要。</p>
特定保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導実施機関の医療機関からは様々な研修ニーズがある。</li> <li>喫煙者を特定保健指導により禁煙させる効果は不十分。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">実施率向上に加え、指導の質を向上させる取り組みが必要。</p>
生活習慣病の重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診者の4割が服薬治療中。</li> <li>服薬治療中であっても、喫煙、飲酒、肥満など、見直すべき生活習慣を続けている方がいる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">重症化予防のためにかかりつけ医と連携した取り組みが必要である。</p>



### H28年度医療費 上位6疾患

疾患	医療費	割合	順位
慢性腎不全（透析あり）	43.69億円	6.8%	1位
糖尿病	36.77億円	5.7%	2位
高血圧症	28.97億円	4.5%	3位
統合失調症	27.14億円	4.2%	4位
関節疾患	23.82億円	3.7%	5位
脂質異常症	17.54億円	2.7%	6位

### H28年度件数 上位6疾患

疾患	被保険者千対レセプト数	順位
高血圧症	75.75	1位
糖尿病	44.64	2位
脂質異常症	44.10	3位
関節疾患	28.01	4位
うつ病	19.73	5位
緑内障	17.82	6位

### H28年度特定健診受診率 上位、下位中学校区

中学校区	受診率
上位5中学校区（磯辺、真砂、朝日ヶ丘、越智、稲毛）	40.9%
下位5中学校区（葛城、犢橋、貝塚、花見川、更科）	27.4%

### H23年度 特定保健指導終了者と未終了者の比較

H24年度の値	終了者	未終了者	
平均腹囲減少（cm）	-1.69	-0.83	○
平均体重減少（kg）	-1.26	-0.47	○
平均関連医療費※（円）	7,635	24,603	○
禁煙率※※（%）	9.4	9.9	×

○＝効果ある、×＝効果がみられない

※ 糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの10割負担の医療費  
※※H23喫煙者のうち禁煙した者の割合

### H28 特定健診受診者の服薬状況※

	人数	割合
0剤	29,497	53.8%
1剤	16,557	30.2%
2剤	7,579	13.8%
3剤	1,228	2.2%

※問診票にて確認している糖尿病、高血圧症、脂質異常症

### 前計画の実績は？

前計画では11の評価指標を定め、毎年度評価を行った。H28年度の評価結果は、目標達成できた項目が約3割、目標未達だが改善した項目が約5割となっている。

#### ■評価指標11項目の目標達成状況

- 目標達成 3項目（27%）
- 目標未達だが策定時より改善 6項目（55%）
- 策定時より悪化 2項目（18%）

#### 特定健診実施計画 H28評価結果

目標	H24		H28		達成状況
	策定時	実績値	目標値	達成状況	
特定健診受診率	32.7%	36.2%	43.0%以上	△	
特定保健指導実施率	11.7%	13.3%	30.0%以上	△	

達成状況 △：目標未達だが、策定時より改善

#### データヘルス計画 H28評価結果

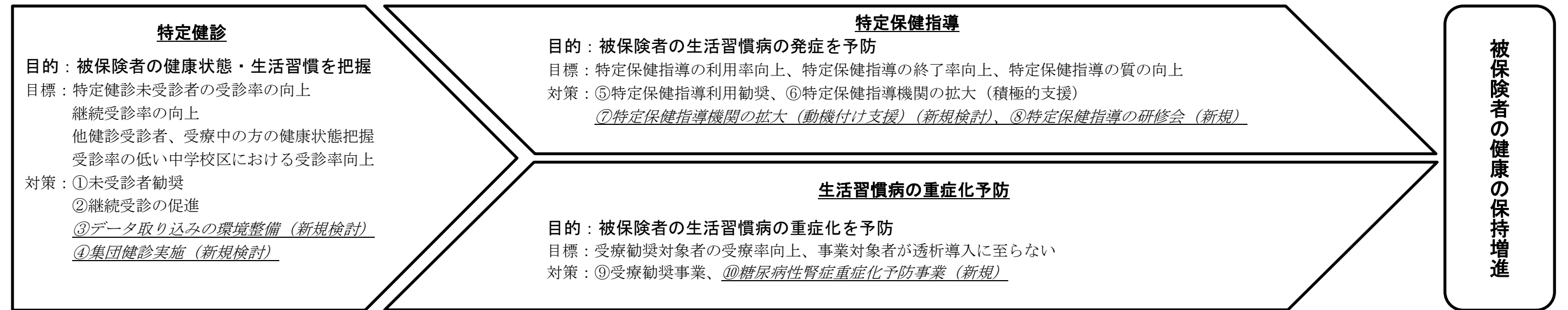
事業	対策	評価指標	H26	H28		
			策定時	実績値	目標値	達成状況
1 特定健診	健診未受診者への受診勧奨	長期未受診者*1の割合	48.0%	46.6%	46.0%以下	△
		40～59歳の受診率	16.0%	17.4%	18.0%以上	△
		継続受診の促進	継続受診率*2	71.3%	67.7%	74.0%以上
2 特定保健指導	利用促進	利用率*3	13.4%	17.2%	18.0%以上	△
		積極的支援	8.5%	16.4%	13.0%以上	○
	保健指導における利便性の向上	終了率*4	86.0%	87.6%	86.0%以上	○
		積極的支援	42.7%	41.0%	49.0%以上	△
3 生活習慣病の重症化予防	受療勧奨と保健指導	受療率	42.0%	30.3%	43.0%以上	×
		新規透析患者数	160人	155人	160人以下	○

\*1 5年間健診を利用していない者の割合 \*2 前年度の健診を受診している者全数のうち、当該年度健診受診者の割合  
\*3 保健指導対象者のうち初回面接を受けた者の割合 \*4 初回面接を受けた者のうち6ヵ月間の指導を終了した者の割合  
達成状況 ○：目標達成 △：目標未達だが、策定時より改善 ×：策定時より悪化

### 3. 目的・目標（38頁）

計画目的：糖尿病、高血圧症、脂質異常症の発症・重症化予防を行う。

計画目標：①血糖値が高い者の割合の減少、②高血圧の改善、③脂質異常症の減少



従来から実施している5つの対策は前データヘルス計画個別事業評価に基づき改善しながら実施し、新規事業については下記のとおり実施する。

### 4. 保健事業の実施内容（42頁）

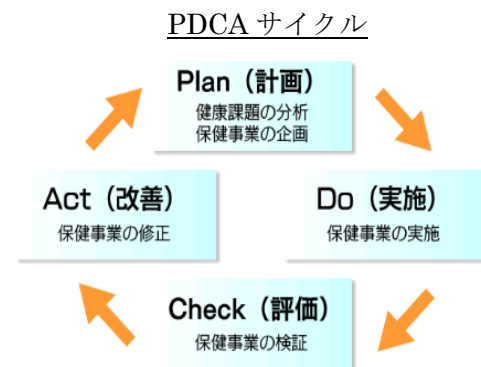
新規対策のスケジュール

事業名	対策	実施検討					モデル実施		事業内容
		2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)		
特定健診	データ取り込みの環境整備							● 特定健診以外で健診・検査を受けている方の健康状態・生活習慣データを取り込むための環境を整備する。	
	集団健診実施							● 健診医療機関数が少ない等により特定健診受診ができていない地域を対象に集団健診を実施する。	
特定保健指導	特定保健指導機関の拡大（動機付け支援）							● 委託医療機関を医療機関以外の民間事業者にも拡大し、通信による効果的な支援や休日実施などの利便性を高める。	
	特定保健指導の研修会							● 委託医療機関に研修を実施することにより、特定保健指導の質を高め利用者の健康の保持、増進につなげる。	
重症化予防	糖尿病性腎症重症化予防事業							● 糖尿病性腎症の発症や重症化を予防するため、かかりつけ医と連携した保健指導を行う。	

### 5. データヘルス計画の評価・見直し（46頁）、6. 第3期千葉市国民健康保険特定健康診査等実施計画（47頁）

右表の目標値を達成するために、従来の対策、新規対策をPDCAサイクルに沿って毎年実施・評価・改善・計画を繰り返しながら実施します。

計画の中間年の2020（H32）年度に、前年度の評価に基づき中間評価を行い、必要に応じて計画を見直します。



種別	項目	対象	現状 (2016実績)	目標値 (2023)
特定健康診査等実施計画	特定健診受診率	40-64歳	24.4%	30.3%
		65-74歳	44.1%	54.9%
		全体	36.2%	47.0%
	特定保健指導実施率	動機付け支援	15.1%	26.4%
		積極的支援	6.7%	11.8%
		全体	13.3%	24.0%
データヘルス計画 ※	①血糖値が高い者の割合 (HbA1cが8.4%以上)	40-64歳	0.91%	0.77%
		65-74歳	0.65%	0.51%
	②高血圧の改善 (収縮期血圧の平均値の改善)	男性	130.1mmHg	129.4mmHg
		女性	127.3mmHg	126.6mmHg
	③脂質異常症の減少 (LDLコレステロールの160mg/dl以上の人の割合減少)	男性	9.7%	7.6%
		女性	15.2%	10.3%

※健やか未来都市ちばプランと整合性をはかり、国民健康保険被保険者の目標値を設定。